

審議内容

(事前説明第2号について公園計画・21世紀の森担当より説明)

(質疑等の要旨)

- 委員 南の口公園の南側では、コミュニティスペースと体育館が併設されることになる。現在、体育館の景観審議を進める中で、コミュニティスペースが将来的に公園の一部となるのか、住宅用地として売却されるのかを考慮しなければならないため、今後のコミュニティスペースの取り扱いを教えてください。
- 事務局 南の口公園の南側のコミュニティスペースでは、将来的に売却するという可能性を残しつつ、従来の公園より自由度の高い協働型公園を目指している。今回の都市計画変更では、コミュニティスペースをより自由度の高い公園にするため、都市公園の区域に含めないこととしている。
- 委員 自由度の高い公園として都市公園の区域に含めず、将来的に売却の可能性があるということであれば、南の口公園、コミュニティスペース、体育館を一体的なものにしてほしいという意見がある中で、コミュニティスペースが公園の一部として使用される期間によって体育館の作り方が変わってくると思う。そのため、コミュニティスペースが公園の一部として使用する期間はどの程度なのか。
- 事務局 現時点では、コミュニティスペースを公園の一部として使用する期間は定めていない。実際のコミュニティスペースの使われ方を考慮して、今後の方針を定めていくと考えている。
- 委員 コミュニティスペースや体育館と一体的な協働型公園を目指すのであれば、公園側からの見え方というのが景観的にも非常に重要なため、ある程度の期間を定めて検討した方がいいのではないかと。
- 事務局 この場所は、以前は中学校用地であり、中学校廃止後は「大庄おもしろ広場」として、敷地全体を地域が管理してきたという状況が10年以上続いていた。このような状況の中で、コミュニティスペース部分は、売却の可能性を残しているが、大庄地域振興センターが管理する自由度の高い広場として使用し、地域が主体的に管理していくようなことを考えている中で、コミュニティスペースとしての使い方が長く続くのではないかと考えている。また、一団の土地として考えた場合、コミュニティスペース部分のみの売却は、土地利用の観点からもあまり得策ではないと考えている。
- 委員 コミュニティスペースとして長く使われるだろうという事が前提にあるのであれば、併設される体育館の建設に際してもコミュニティスペースと一体的に使えるような計画にしていきたい。
- 委員 旧南の口公園は、周辺地域から親しまれていたという経緯があり、今後売却するのであれば、緑の扱いをどのように考えているのか教えていた

だきたい。

事 務 局 旧南の口公園は、周辺地域にとって愛着ある場所という認識であるため、売却するのであれば、周辺地域への丁寧なコミュニケーションが重要であると考えている。

委 員 佐璞丘公園の緑の管理について、手つかずのまま放置されているという現状があり、尼崎市では、適正な管理を行うという考えを示している。そのような中で、適正な維持管理として、何ができるかを教えていただきたい。

事 務 局 佐璞丘公園については、ワークショップを開催し、地域からの意見を聞いている。市内の中でも貴重な自然林であるため、それを後世に残していくという部分と近隣の住民に落ち葉などで迷惑をかけているという部分があり、自然林を残していくには、周辺地域の意見を参考に、将来の活用の方向性を含めて、場合によっては樹木の間引きなども検討していく必要がある。

委 員 公園をどのように活用し、維持していくのかは非常に重要な課題であると思うため、今回の変更とともに、関係部署と連携して取り組んでいただきたい。

委 員 佐璞丘公園は、自然林という風致公園の側面と社会教育的な史跡公園の側面があり、その両面から整備の方法を検討する必要があると思うが、都市整備局として、佐璞丘公園の整備はどのように考えているか教えていただきたい。

事 務 局 佐璞丘公園の都市計画決定としては、旧猪名寺跡地として史跡ということは認識しているが、自然林を残していくために、風致公園として都市計画決定しているため構造物の整備などはなじまないと考えている。

委 員 都市整備局における都市公園としての整備と社会教育の観点からの史跡公園としての整備を連携させて検討していただきたい。

委 員 海外では、リハビリテーションや地域医療に移行する前段階で、通院途中等に公園緑地を活用するという考え方がある。大物公園は、リハビリテーションや地域医療を有している病院が隣接しているため、病院との連携にも取り組んでいただきたい。

以 上